

科目ナンバリング		U-LET45 28659 LJ36									
授業科目名 <英訳>		系共通科目（基礎現代文化学）（講読Ⅴ） Basic course of Modern Culture & History(Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 助教 宮 紀子			
配当 学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 後期	曜時限	木2	授業 形態	講読	使用 言語	日本語
題目		中国語講読									
[授業の概要・目的]											
<p>民国期から現代にいたる中国のさまざまな形態の文章を、正確かつ迅速に読解・処理し、原文に相応しい文体で翻訳する能力を身につけることを目標とする授業である。マンガにはじまり、ショート・ショート、新聞やインターネット上の各種記事、小説、歌謡曲、戯曲、フィールド調査の報告、学術論文へと、徐々に難解なものへ移行しながら翻訳の技術を磨く。同時に多様で複雑な中国文化と社会の実態を掘削し理解してゆくための手掛かりを提供したい。</p>											
[到達目標]											
<p>現代中国語で書かれた文章を正確に一定の速度で読解できるようになる。その文章がいかなる背景のもとに書かれたか、さまざまな道具を用いて調べる技術も身につける。</p>											
[授業計画と内容]											
<p>さまざまな媒体・形式の現代中国語文を、それぞれの分量に照らして、全十五回のなかで、複数の資料を読むよう、適当な回数に割り振って読んでゆく。初回に各人のレベルを把握するために、用意した配布物をその場で音読・翻訳してもらう。受講者は毎回一度は現代中国語で読み上げ、日本語訳せねばならない。受講者の専攻、人数、レベルに配慮しながら、できるだけ多様な文章を紹介する。</p>											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
平常点（毎回、発音・翻訳上の工夫等を採点、第1回目から15回目までの進歩の度合いも考慮する）											
[教科書]											
授業中に次回分のテキスト、関連資料を配布する。インターネット上にも掲示する。											
[参考書等]											
（参考書） 授業中に紹介する											
[授業外学習（予習・復習）等]											
授業で取り上げる箇所を日本語訳し、現代中国語で音読できるようにしておくこと。											
（その他（オフィスアワー等））											
前期と後期で取り上げる文章は異なるので、後期のみの受講も認める。ただし、中国語に苦手意識があるようであれば、まず前期に受講することを推奨する。											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											